

授業概要

乳児の発達を理解するために、それに基づいて乳児の遊びを中心とした保育のあり方について講義する。0歳児から2歳児までの発達について具体的に示しながら、親子の関わりや保育所保育の実際を考察し、乳児の発達を促す保育内容としての遊びについて検討する。授業のなかでは、乳児の遊びに必要な玩具を実際に制作する。保育の主体は子ども(乳児)であることを基本的概念として理解しながら、これからの保育について必要な知識と技術を学ぶ。

授業計画

第 1 回	乳児保育とは何か
第 2 回	乳児保育の歴史
第 3 回	0歳児と保育
第 4 回	1歳児と保育
第 5 回	2歳児と保育
第 6 回	乳児保育の発達と保育のあり方
第 7 回	乳児保育と遊び—理論 1—
第 8 回	乳児保育と遊び—理論 2—
第 9 回	乳児保育と遊び—実践 1—
第 10 回	乳児保育と遊び—実践 2—
第 11 回	乳児保育と遊び—実践 3—
第 12 回	乳児保育と遊び—実践 4—
第 13 回	乳児保育と遊び—実践 5—
第 14 回	親子の関わり 1
第 15 回	親子の関わり 2
第 16 回	筆記試験の実施

到達目標

乳児についての正しい理解から遊びを考察することができる。また、乳児向けの玩具を制作する。

履修上の注意

テキスト『新版乳児保育』を毎回持参のこと。
制作時間には小道具が必要になる。授業のなかで適宜指示する。
遅刻は3回で欠席1回とする。

予習・復習

テキスト『新版乳児保育』を事前に読んでおくこと。事後学習では、授業の内容について考察してまとめておくこと。また、関心のあるテーマについてはさらに図書館で調べたり、関連のある書物を読んで理解を深めること。

評価方法

定期試験 70%、平常点 30%（授業参加、小レポート、制作物の提出）で評価する。

テキスト

『コンパクト版保育者養成シリーズ 新版乳児保育』（一藝社）
厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館
その他、適宜プリントを配布する。